

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 4 年 11 月 18 日(2022.11.18)

【公開番号】特開 2021-87204(P2021-87204A)
【公開日】令和 3 年 6 月 3 日(2021.6.3)
【年通号数】公開・登録公報 2021-025
【出願番号】特願 2019-217575(P2019-217575)
【国際特許分類】

H 0 4 N 5/77(2006.01)

10

H 0 4 N 5/232(2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/77 2 0 0

H 0 4 N 5/232 4 5 0

H 0 4 N 5/232 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 9 日(2022.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体にアクセス可能な記録装置であって、

前記記録媒体において機能制限が行われる温度閾値を、前記記録媒体に設定する制御手段を有し、

前記制御手段は、前記記録媒体において機能制限が行われる温度閾値を、特定の値に設定する第 1 の設定を行うか、前記特定の値よりも大きい値に設定する第 2 の設定を行うかを、前記記録装置の動作状態に応じて切り替えることを特徴とする記録装置。 30

【請求項 2】

撮像手段と、

前記撮像手段により撮影した画像を前記記録媒体に記録する記録制御手段と、

前記記録媒体に記録された画像を読み出して再生してする再生制御手段と、を有し、

前記制御手段は、前記撮像手段により画像を撮影する撮影モードの場合は、前記第 2 の設定を行うように制御し、前記記録媒体に記録された静止画を再生する静止画再生の場合は、前記第 1 の設定を行うように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記記録媒体に記録された画像を読み出して再生する再生モードの場合に、静止画を再生する静止画再生の場合は前記第 1 の設定を行うように制御し、動画を再生する動画再生の場合は前記第 2 の設定を行うように制御することを特徴とする請求項 2 に記載の記録装置。 40

【請求項 4】

前記制御手段は、前記記録媒体に記録されている動画ファイルを再生する場合に、動画ファイル中の 1 つのフレーム画像を再生する場合は前記第 1 の設定を行うように制御し、前記動画ファイル中の複数のフレームを連続して再生する場合は前記第 2 の設定を行うように制御することを特徴とする請求項 3 に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記記録媒体において第 1 の制限モードが実行される温度閾値である 50

第 1 の値と、前記第 1 の制限モードよりもより制限の大きい第 2 の制限モードが実行される温度閾値である、前記第 1 の閾値よりも大きい第 2 の値と、を設定することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 6】

前記記録媒体から、前記記録媒体において機能制限が行われる温度閾値として設定可能な値の範囲を取得する範囲取得手段を有し、

前記制御手段は、前記範囲取得手段により取得した設定可能な値の範囲内で前記第 1 の値及び前記第 2 の値を設定することを特徴とする請求項 5 に記載の記録装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記第 2 の設定において、前記設定可能な値の範囲内の上限値を前記第 2 の値に設定し、前記第 2 の値よりも小さく、前記第 1 の設定における第 2 の値よりも大きい値を前記第 1 の値に設定することを特徴とする請求項 6 に記載の記録装置。

【請求項 8】

前記制御手段は、前記第 2 の設定において、前記設定可能な値の範囲内の上限値よりも 1 小さい値を前記第 1 の値に設定することを特徴とする請求項 7 に記載の記録装置。

【請求項 9】

前記特定の値は、前記記録媒体のデフォルト値であることを特徴とする請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 10】

前記記録媒体から、前記記録媒体において機能制限が行われる温度閾値のデフォルト値を取得するデフォルト値取得手段と、を有し、

前記デフォルト値取得手段は、前記記録媒体において機能制限が行われる温度閾値の設定を変更する前に前記記録媒体に設定されている温度閾値を取得し、当該取得した値をデフォルト値とすることを特徴とする請求項 9 に記載の記録装置。

【請求項 11】

前記記録媒体は、CFexpress 規格に対応したメモ리카ードであり、

前記制御手段は、HCTM (Host Controlled Thermal Management) 機能を用いて前記温度閾値を設定することを特徴とする請求項 1 ないし 10 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 12】

記録媒体にアクセス可能な記録装置の制御方法であって、

前記記録媒体において機能制限が行われる温度閾値を、前記記録媒体に設定する制御工程を有し、

前記制御工程では、前記記録媒体において機能制限が行われる温度閾値を、特定の値に設定する第 1 の設定を行うか、前記特定の値よりも大きい値に設定する第 2 の設定を行うかを、前記記録装置の動作状態に応じて切り替えることを特徴とする記録装置の制御方法。

【請求項 13】

コンピュータを、請求項 1 ないし 11 のいずれか 1 項に記載の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 14】

請求項 12 に記載の記録装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上述の課題を解決するため、本発明の記録装置は、

10

20

30

40

50

録媒体にアクセス可能な記録装置であって、記録媒体において機能制限が行われる温度閾値を、前記記録媒体に設定する制御手段を有し、制御手段は、記録媒体において機能制限が行われる温度閾値を、特定の値に設定する第１の設定を行うか、特定の値よりも大きい値に設定する第２の設定を行うかを、記録装置の動作状態に応じて切り替えることを特徴とする。

10

20

30

40

50